

# 事業者職員向け 児童発達支援自己評価表

4/4回答

令和4年3月実施

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			指導訓練室等のスペースは適応していると思われる。個別での環境設定を行っている。
	②	職員の配置数は適切であるか	4			常時個別対応の職員を配置している。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか職員の専門性は適切ですか	3	1		実務経験のある有資格者を配置している。からだの教室の教材移動が困難で、目につく場所に保管してあることで、ことばの教室の生徒の興味がそちらに囚われて遊んでしまう状況がある。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4			支援の目的にあわせて環境設定をしている。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4			常勤、非常勤を含めて、支援の目的を常に共有する様にしているまた、共通理解にも努める。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			保護者評価また事業所評価アンケートを実施し、職員間で分析し、課題を共有した。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			利用者の方にアンケート結果の配布と事業所内掲示。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	2	1	第三者による外部評価は現在行っていない。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	1		毎月各テーマを設定し研修を行っている。非常勤職員を含め、定期的に施設内研修を実施している。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4			半年ごとに個別支援計画を作成し、保護者面談を行っている。長期休暇時の細やかな課題設定になる様に見直し検討。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	1		当施設では実施していないが、診断書や検査結果など保護者様より情報提出して頂いている。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4			常勤、非常勤を含めて、意見交流を行っている。今後は細かな設定にも努める
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4			児童発達支援計画に沿った支援の提供。支援内容方法についても専門職により、随時見直し修正を行っている。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			6か月ごとに、児童の成長や新たな課題について、職員間で共有検討し、内容の見直しを行っている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			専門職が支援のバランスに配慮し、日常生活動作等の社会性を育てることを大きな共通課題としている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	3	1		現在、専門職による個別指導活動である。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	1		記録を記入し、業務終了後に振り返りを行っている。次回の支援につなげる。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	1		日々提供記録を取り、打ち合わせ時や支援計画の作成時に活用している。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			6か月ごとに、児童の成長や新たな課題について、職員間で共有検討し、内容の見直しを行っている。
や保護者との連携関係機関や保護者	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4			ガイドラインに沿った支援。施設内外の活動のバランスに配慮し、社会性を育てることを大きな共通課題としている。
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			相談支援事業所とも密に連携し、担当者会議には児童発達管理責任者が参画する。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4			常に連携を働きかけ、情報共有や連絡調整に努めている。
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	4			医師（嘱託医）やかかり付け病院と児童のこについて、相談できる関係ができています。また、主治医の情報提供書を頂いている。必要時は情報提供書にて当施設の訓練状況を伝えている。
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	4			医師（嘱託医）やかかり付け病院と児童のこについて、相談できる関係ができています。また、主治医の情報提供書を頂いている。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4			見学や必要時情報提供書を作成している。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4			必要時情報提供書を作成している。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	1	1	担当者会議等で意見交換など行っている。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	2	地元の学校との交流の場を計画し一人でも多くの人が参加できる様な調整を行う必要がある
	㉙	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	1	2	11/25の会議には、管理者が代表で参加している。その他はコロナ禍で会議が中止（自粛）の状態。
保護者への説明責任等	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			利用時に家庭での様子、施設での様子を共有している。
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	4			日々の様子を共有する中で、保護者の悩みや課題に寄り添うよう努力している。例えば、家庭の中で出来る訓練内容を伝えたりアドバイスしたりしている。
	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			契約時にすべて説明し、保育的な活動方針も配布している。
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	4			ガイドラインに沿った支援。児童発達支援管理責任者が専門職と協議しながら施設内外の活動のバランスに配慮した計画を立案している。
	㉞	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3		1	必要に応じて話を聞く時間を設けるようにしている。
	㉟	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	1	1	個別指導の為、保護者同士の交流は無い。
	㊱	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			苦情が発生した時には、職員間で発生原因と改善策を共有し、迅速に対応している。
	㊲	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3		1	同法人の新聞配布のみで、毎月の予定発信や会報配布については個別訓練のため行っていない。LINE開設し、情報のやりとりが出来る環境を現在調整中である。
	㊳	個人情報の取扱いに十分注意しているか	4			データや個人情報は鍵付キャビネットに保管している。
	㊴	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			先入観や思い込みではなく、子どもの行動の前後の様子から思いを読み取るように努力している。
非常時の対応	㊵	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2		2	法人内の行事（夏祭り、合同運動会、クリスマス会）がある時はポスターの掲示し情報を提供し地域の方と触れ合う機会を提供するようにしているが、現在はコロナ禍で中止されている。
	㊶	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4			緊急時の対応等、防犯、感染症のマニュアルはある。
	㊷	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			6ヶ月に1回は非常災害避難訓練を実施している。
	㊸	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	4			必要に応じて、医師（嘱託医）やかかり付け病院と児童のこについて、相談している。また、主治医の情報提供書を頂いている。
	㊹	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	1		アレルギー等の情報も頂いているが、実際に食事の提供は無い。
	㊺	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			事故ヒヤリが出た場合にはすぐに対応、分析するようにしている。また、母体の施設のリスク会議に参加して、他施設の情報についても共有している。
	㊻	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			3ヶ月ごとに虐待防止定例会を開催し、職員へ周知している。
㊼	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	4			身体拘束防止研修会を開催し、職員へ周知している。	

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。